

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	016 市長へのたより・メール等広聴事業					
予算科目	01-020104-13 広聴事業に要する経費			担当部課	市長公室広聴室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	

## 事業の概要

対象	市民等、市職員
目的	市民等から広く市政に対する意見・要望等を聴き、より良い市政運営にいかす。庁内各部署が行政としての説明責任を果たし、市民の理解・納得を得られるよう、市民とのコミュニケーションをサポートする。
概要 (取組内容)	市庁舎や地域交流センター等に設置している「市長へのたより」の専用はがきや、市ホームページに設置している「市長へのメール」送信フォーム、Eメール、はがき、封書、要望書、電話、面会による意見等を聴取 聴き取った意見、提案等を「市民の声支援システム」に登録し、特別職、関係部署、政策員等と情報共有の上、必要に応じて市から相談者に対する回答の調整等を実施

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	106	138	109	89	89	
	決算額	(千円)	121	133	111	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	121	133	111	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,371	10,281	15,232	14,747	14,747	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	1.40	2.10	2.10	2.10
		正職員時間外勤務	(時間)	342.00	252.00	23.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	意見・要望等の收受後は関係部署と速やかに連絡調整を行い、各部署による回答案作成の進捗管理をこまめに行うとともに、担当部署が回答作成や対応に苦慮している場合は、必要に応じて助言等を行った。
成果	寄せられた意見・要望等については、関係部署と迅速に共有・調整を行い、速やかな対応・回答に努めた。文書での回答に当たっては、できる限り市民の理解・納得を得られるよう、分かりやすい表現となるよう工夫した上で回答を作成した。令和6年度に寄せられた要望等の数は1,194件（うち文書等による回答を要するものは603件、40日以内の回答率は63.4%）
課題	<p>業務</p> <p>複数部署が関係する案件や複雑な調整を要する案件等は、担当部署による回答案作成や特別職の決裁に日数を要する場合があります、目安である40日以内の回答が困難なケースがある。市民ニーズが多様化する中で、各部署の既存の所掌業務の範疇では対応できない要望等が増えており、回答調整が困難な場合がある。</p> <p>組織、予算等</p>
改善目標	意見・要望等の收受後は、関係部署と速やかに連絡調整を行い、各部署による回答案作成の進捗管理をこまめに行うことで、できる限り相手方への回答に要する日数の縮減を図る。市の既存業務の範疇で対応できない要望等にも、関係部署と調整を図り、理解・納得を得られるような回答の作成に努める。

### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	015 市長と住民の意見交換会事業					
予算科目	01-020104-13 広聴事業に要する経費				担当部課	市長公室広聴室
市長公約					係名	
戦略プラン	I-1	3	1	市政情報等の発信	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に

## 事業の概要

対象	市民
目的	市民に市政を身近なものとして感じてもらうとともに、市民の意見を今後の市政にいかす。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長と市民との直接的なコミュニケーションの場としてタウンミーティングを開催</li> <li>・市内6会場での対面形式タウンミーティングのほか、オンラインタウンミーティング及び中高生向けのオンラインタウンミーティングを開催した。</li> <li>・大学生に市政への理解・関心を深めてもらい、学生ならではの意見を聴くため、学生懇談会を開催（筑波大学との協働事業）（令和5年度に事業を廃止）</li> <li>・小学6年生を対象に一日市長体験を開催</li> </ul>

## コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	201	169	198	296	296	
	決算額	(千円)	130	142	171	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	130	142	171	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,888	4,719	6,889	6,701	6,701	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	328.00	237.00	155.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市長による参加者への市政に関するプレゼンテーション、市長と参加者の意見交換
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	参加者アンケートによる当事業に関する意識調査

## 指標の推移

1	指標名	タウンミーティング参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	340.0	340.0	90.0	340.0	340.0	340.0
	実績	302.0	0.0	39.0	167.0	123.0	148.0
	指標の概要	タウンミーティングに参加した市民等の合計人数					

2	指標名	学生懇談会参加人数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	33.0	27.0	15.0	19.0	0.0	0.0
	指標の概要	「市長と筑波大学学生による懇談会」に参加した学生の人数（令和5年度事業を廃止）					
3	指標名	タウンミーティング参加後に市政に親近感が感じられた割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	64.0	66.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	実績	80.0	0.0	100.0	89.0	78.2	89.0
	指標の概要	参加者アンケートで「タウンミーティングに参加して、参加前と比べて、市政が身近なもの・親しみやすいものと感じられましたか」の間に、「感じられた」又は「どちらかといえば感じられた」と答えた人の割合					
4	指標名	学生懇談会参加後に市政に親近感が感じられた割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	指標の概要	参加者アンケートで「学生懇談会に参加して、参加前と比べて市政が身近なもの・親しみやすいものと感じられましたか」の間に「感じられた」又は「どちらかといえば感じられた」と答えた人の割合（事業廃止）					
5	指標名	タウンミーティングに初めて参加した人の割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	60.9	77.8	75.0	51.3	43.7	46.3
	指標の概要	参加者アンケートでタウンミーティング参加を「初めて」と回答した人の割合（個別施策 I-1-③市政への市民参加の推進 指標2）					

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	チラシ、広報紙、区会回覧、ホームページ、市公式SNSやつくスマなど様々な手段を活用することで幅広い年齢層への周知に努めるとともに、様々な世代の方々が参加しやすいよう会場の一部を変更した。	
成果	市内6会場での対面方式のタウンミーティング、オンラインタウンミーティング及び中高生向けのオンラインタウンミーティングを開催した。また、小学6年生を対象に一日市長体験を開催し、子供たちと市政に関する意見交換を行う機会を設けた。いずれの回においても、市長と参加者の直接的なコミュニケーションを通じ、参加者が市政をより身近なものとして認識する効果が得られた。	
課題	業務	対面方式での開催では、50代以上の参加者が8割以上を占めており、参加者層に偏りが見られる。
	組織、予算等	
改善目標	幅広い世代の方々が参加しやすいよう、令和6年度に開催したタウンミーティングに加え、つくば市役所を会場としてタウンミーティングを新たに開催する。また、対面方式で開催する際は会場内にキッズスペースを設けるなど、場づくりについても工夫をしていく。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	